

農学で ビジネスを 立ち上げる

～出現しつつある4,500兆円市場
の中で日本が果たせる役割は～

事前申込不要・参加費無料
学生・一般の方のご来場を歓迎します



ちとせグループ 創業者兼CEO

藤田 朋宏 Ph.D.
Tomohiro Fujita

2024.7.12(金)

15:00-16:00

会場

東京農業大学 農大アカデミアセンター B1階 横井講堂

講座内容

米国の大統領令で、バイオエコミーという新産業が10年後に4500兆円の規模に拡大すると言及されて1年半が経ちました。急拡大している世界的な新産業の中で、日本人が築き上げて来た農学とその基礎となる考え方が世界の中で求められる役割は急速に高まっています。農学をベースに日本から東南アジアに事業を拡大し、時価総額1250億円を越えるアジアでも最大級の農学系ベンチャーに成長したちとせグループの創業者兼CEOが世界を見てきた実感として、日本の農学教育期待されているのは、表層的で薄いテクノロジーの開発ではなく、日本の農学を作り上げた考え方やマインドセットであるという話をします。

講師略歴

ちとせグループ 創業者兼CEO 1973年生まれ
東京大学農学部卒業、同学農学生命科学科修了後、外資系コンサルティング企業を経て、2008年にネオ・モルガン研究所（現ちとせ研究所）をMBOにより取得、2011年にちとせグループとして再編成を行う。近年は、バイオエコミーは地域経済を活性化し得るという信念の下、各国政府や国内の自治体との協力体制の構築にも重点的に取り組んでいる。また、内閣官房 バイオ戦略有識者会議構成員などの役職を通じて産学官連携の強化にも取り組んでいる。

東京農業大学 総合研究所研究会

アクセス：●小田急線経堂駅 徒歩約15分 小田急バス：調布駅南口行(渋26)

●渋谷駅西口 バス約30分「農大前」下車

東急バス：成城学園前駅西口行(渋24)/用賀行(渋22)/祖師ヶ谷大蔵駅行(渋23)

TEL：03-5477-2565

FAX：03-5477-2634

E-mail：kenkyuka@nodai.ac.jp